



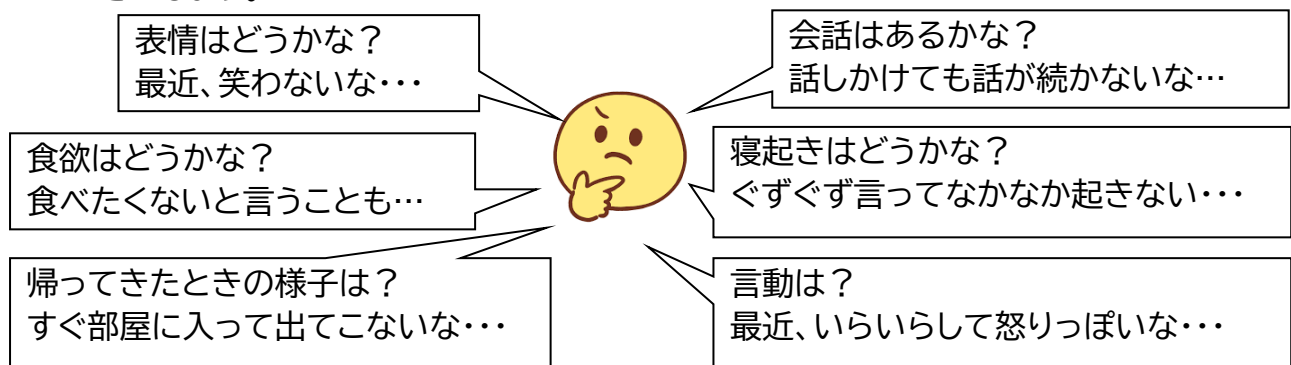
「安心できる居場所づくり」



2学期の始まりに際し、まずは9月からの4か月間、子供たちが安心して登校し、心穏やかに学校生活を送ることができることを最重要テーマと考えています。もちろん、学習の充実も大切です。ただ、大人も子供も同様で、心が安定していなければ何事に対しても集中して取り組むことはできません。そこで、子供たちの安心できる居場所づくりに力を入れようと思うのです。

「気付きの力」を高める

子供たちは、心の不調をなかなかうまく表現できません。「何も言わないから大丈夫」ではなく、周囲の大人や仲間が「いつもと違う？」と気に掛けることで、早期に気付き、サポートすることが可能になります。学校と家庭と連携して、互いに気付いたことを共有していきたいと思えます。お子さんのことで気になることがありましたら、ぜひお知らせいただき、一緒に考えていきましょう。



「そばにいるよ」のメッセージを

心配になると、つい「何かあったの？」と原因を聞きたくなります。でも、心がいっぱいなのは、なかなかうまく話すことができないものです。

そんなときには、「ああだったの？こうだったの？」と聞き出したい気持ちを一旦こらえて、まず「いつもとちがうね…」「ちょっと元気ないみたいだね」「心配だな」と、「あなたのことを気にかけているよ」、「あなたのことを大切に思っているよ」という思いを伝え、子供が「自分一人じゃない」という安心感をもてる関係づくりに努めていきたいと思えます。

2学期は、運動会、宿泊学習、遠足、学習発表会等、様々な行事もあり、子供たちが一段と大きく成長する充実の学期です。一方で、子供たちは、フル回転でその心と体の成長に追いつこうと頑張るため、疲れがいろいろな形で表れてくると思えます。

家庭と学校で力を合わせ、「あたたかい居場所」で子供たちの成長を支えていきましょう。

